

第2分科会『組織・運営』では、研究課題「学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方」のもと、研究主題を1「学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築」、2「活力ある運営を実現するための組織の活性化」とし、小樽市立幸小学校、岡田校長の提言、誌上交流を通して、校長の示す学校経営ビジョンの実現を図るための活力ある組織づくりと組織を運営していくための具体的方策や成果を明らかにしました。

小樽市小学校長会は、『学校経営ビジョンの実現を図るための組織づくりにおける校長の役割と指導性』を研究主題とした3カ年計画の1年目として、今年度はアンケートによる実態把握と実践交流について提言しました。アンケート調査では、見やすくわかりやすいグランドデザイン、学校経営ビジョンの保護者・地域への理解・浸透、運営組織の機能化・活性化に向けた方策、人材育成の取組状況などについて明らかにしました。

その上で、具体的な取組例として、市内でグランドデザインの共通項目を絞り焦点化と浸透を図った取組、市内全校が市の学校管理規則に基づく校務規定を策定した取組、運営組織の共通化を図った上での機能化・活性化に向けた取組、働き方改革にかかるワークショップを活用した業務改善の取組、小樽市校長会が主催して行っている人材育成の取組などが紹介されました。

成果としては、実態把握や共通の取組による市全体の運営強化などが、課題としては with コロナにおける効果的なグランドデザインの策定、運営組織を生かした活力ある学校運営の不断の評価・改善、人材育成のさらなる強化があげられました。

誌上交流では多くの会員のみなさまから感想、ご意見、質問などをいただきました。特に今後の情勢をにらんだグランドデザインの焦点化や組織の活性化に生かす校務規定の在り方、ワークショップを活用した経営参画意識の醸成、新しい生活様式を踏まえた上での教育の質の向上を図る働き方改革の推進、次代を担うミドルリーダーの育成の取組について、小樽市の提言を生かした取組を推進したいという感想が印象的でした。

まとめに代えて、次年度への引き継ぎたいことを3点挙げます。①新たな時代を見据えた学校経営ビジョンの実現に向けた実効性ある組織づくり、②小学校高学年教科担任制、働き方改革に向けた校内組織の再編、③キャリアステージに応じた組織的・計画的な人材育成、そしてその全てにおける校長のリーダーシップについてです。これらを次年度の全道大会へと引き継ぎたいと思います。